

一般財団法人カワイサウンド技術・音楽振興財団
2024 年度 研究助成応募要領【音楽振興部門(コラボ分野)】

<記>

1. 研究目的・趣旨

広く音楽文化への新たな挑戦を目指す、ジャンルを超えた、ピアノと伝統楽器によるコラボレーション研究

<主たる観点>

- ・ 世界各地の伝統楽器とピアノとの斬新で独創的なコラボレーションであること。
- ・ コラボレーションによってピアノの新たな表現の可能性が図られていること。
- ・ コラボレーションによって伝統楽器の新たな表現の可能性が図られていること。

この研究募集は、上記のような意欲的な演奏研究を行っているグループに研究助成金の支給と、演奏機会を提供し、コラボレーション研究の社会への告知を図るものです。西洋音楽の一つの頂点であるピアノという楽器と伝統楽器がコラボレーションした時、どのような新しい表現が生まれるか。日々研鑽を積み重ねられている皆様には是非ご応募頂きたいと思っております。

<補足説明>

今回募集するのはピアノという楽器の可能性を探求するため、ピアノを各地の伝統音楽と組み合わせる試みです。異なる楽器をただ一緒に演奏するのではなく、その組み合わせがピアノにとっても、それぞれの伝統音楽にとっても、新しい響きと音楽様式を生み出すきっかけになることが必要です。皆様の大胆で斬新な試みを期待します。なおピアノの調律は12等分平均律とし、内部奏法は禁止します。

【ピアノを使用した音楽様式について】

ピアノは西洋社会で生まれた楽器で19世紀から他の地域にも普及しました。日本では明治時代以降ピアノを輸入するだけでなくピアノを生産し海外に輸出するまでに発展し、明治時代から新しい響きをもつ楽器としてピアノが評価され、箏・三味線とピアノの合奏も行われました。第二次大戦中はピアノと邦楽器による合奏で《軍艦マーチ》が演奏され、日本の伝統音楽である長唄や箏曲をピアノ用に編曲することも行われました。20世紀になるとアジア諸国でもピアノへの関心が高くなりました。

[モンゴル]

馬頭琴とピアノの組み合わせで西洋のチェロの曲が演奏されました。

[中国]

元来は地域固有の伝統民謡が中国全体に共通する形（新民謡）に改編され伴奏にピアノが用いられています。

[ヨーロッパ]

地域に固有の楽器がありそれらとピアノの合奏も試みられています。

2. 審査

応募テーマを選定するため、以下の日程で審査を行います。

【日程】

- ・一次審査 書類審査(結果は9月末に事務局から申請者へ連絡)
- ・二次審査 申請者プレゼンテーション審査(中心パート5分以内の演奏含む)
開催日 2024年11月(予定) 開催日時は一次審査通過者へ連絡
会場 カワイ表参道パウゼ
結果 審査委員長が会場で発表
審査委員
審査委員長: 渡邊 健二(ピアニスト、東京藝術大学名誉教授)
審査員: 河合 健太郎(株式会社河合楽器製作所 副社長)
審査員: 徳丸 吉彦(音楽学者、お茶の水女子大学名誉教授、聖徳大学名誉教授)
審査員: 西原 稔(音楽学者、桐朋学園大学名誉教授)

3. 応募資格

18歳以上の演奏グループ(但しグループの構成人数は5名まで)、及び下記「5.申請資料」1)、及び2)の申請資料を提出される方

4. 申請資料

1)申請用紙(様式-F1c、様式-F2c、様式-F3c、様式-F4c、様式-F5c)

下記財団ホームページからコラボ申請書様式(マイクロソフト社・Word 対応)が配信されておりますのでご利用下さい。様式-F1c～様式-F5cは申請書様式に従いA4横サイズで統一してご記入下さい。

<http://www.sound-zaidan.com>

様式-F1c コラボレーション研究申請書

- 様式-F2c 略歴書
- 様式-F3c 演奏履歴
- 様式-F4c 演奏研究企画書
- 様式-F5c 説明書

- 2) 演奏データ(研究目的・趣旨に沿った演奏内容)
1件以上、複数可
- 3) 添付資料(申請テーマと明確に関連性がある資料)

5. 提出方法

- 1) 申請用紙・・・必ずA)、B)両方ともお送りください
 - A) 郵送(紙資料: 正本1部、副本1部、計2部)
 - B) メール添付(様式-F1c～様式-F5c: Wordデータ)
- 2) 演奏データ(音源、又は録音)
メール送信にてユーチューブに限定公開した演奏データのURLを提出
- 3) 添付資料・・・郵送(各5部)
上記、1)、及び2)の提出がない場合は申請の受付をいたしません。ご注意ください。3)の提出は必須ではありませんが提出の場合は様式-F3c のリストに記載した順番と対応番号を添付資料右上に記入して下さい。

6. 提出先

郵送先住所: 〒140-0002 東京都品川区東品川 4-10-27(住友不動産品川ビル内)
一般財団法人カワイサウンド技術・音楽振興財団 事務局
メール送信先: mail@sound-zaidan.com
TEL 03(9400)3221 FAX 03(6712)8125
送付して頂いた一切の資料は返却いたしません。ご了承下さい。

7. 提出期限

2024年8月末日必着 (郵送、メール添付を含め申請資料全ての提出期限)

8. 助成内容

二次審査の結果カワイサウンド技術・音楽振興財団音楽部門コラボ分野 優秀賞(1位 50万円、2位 30万円、3位 20万円)を贈呈いたします。また一位から三位までの通過グループへはカワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」において演奏(研究発表)の場を提供いたします。開催日時は二次審査終了後に調整いたします。

9. 請書の提出

助成金交付の決定を受けた場合、通知書に定める期限までに請書を提出して頂きます。

10. その他注意事項

- 1) 昨年度、当財団の助成金を受けられた方は応募資格がありません。
同一の代表者からの応募は1件のみとします。但し、他のグループのメンバーになることは1件に限り認めます。
- 2) 提出されました書類は、助成採否にかかわらず返却致しません。
- 3) 提出されました書類の内容については、機密の保持に留意致します。
- 4) 虚偽の申請をした場合は、助成決定を取り消す場合がございますのでご注意ください。
- 5) 助成金交付を受けた研究は、助成対象期間終了後に結果報告を提出して戴き、それを取りまとめて財団ホームページより配信して公益に供します。
- 6) 助成を受けた研究を発表する際は、当財団からの助成を受けた旨表記して下さい。
- 7) 諸事情のため演奏(研究発表)が行なえない場合がございます。ご了承下さい。

11. 個人情報の取扱いについて

- 1) 研究助成申請に関して取得した個人情報は当財団のプライバシーポリシーに基づき、審査委員会による選考作業や助成の採否の通知など研究助成事業に必要な範囲と機関誌の送付、及び当財団の業務上必要な範囲に限定して利用いたします。また国籍は問わずEU域内に在住、又はEU域内へ反復して短期滞在される方が申請する場合、当財団の同意書に署名し申請書と同梱して頂くことが必要となります。
財団 HP (<http://www.sound-zaidan.com>) に《プライバシーポリシー》、及び《同意書》を掲載しております。
同意書が必要な申請者はご活用ください。
- 2) 助成が決定した研究テーマや助成対象者に関する情報については新聞、財団ホームページ等を通じて一般公開致しますのでご了解をお願いします。
- 3) 支払調書作成のため助成対象者にはマイナンバーを提出して頂きます。マイナンバーはそれ以外の目的には使用いたしません。

以上